

学校教育目標
よく考える子 ◎思いやりのある子 体を大切にする子

研究主題

思いやりの心を持ち、自他の関わりを大切にして生きる児童の育成
ー伝え、深め、認め合う「特別の教科 道徳」の授業づくりー

目指す児童像

【低学年】
身近な人に温かく接し、互いに仲良く助け合う子

【中学年】
相手のことを思いやり、互いによさを認め、協力し合う子

【高学年】
誰に対しても思いやりの心を持ち、互いに尊重し、高め合う子

【くまがわ学級(低)】
身近な人に温かく接し、互いに仲良く助け合う子
協力し合う子

【くまがわ学級(高)】
誰に対しても思いやりの心を持ち、互いによさを認め、協力し合う子

研究仮説

道徳科の特質及び授業の基礎・基本を踏まえながら、
★1ねらいに迫るための授業展開を工夫し、
★2多面的・多角的な考えを交流する場を設定し、
★3児童の意欲を高める個人内評価を積み重ねていけば、
各分科会の目指す児童像に迫り、「思いやりの心を持ち、自他の関わりを大切にして生きる児童」が育つであろう。

研究主題に迫る手立て 「要」としての道徳科の授業づくり

★1ねらいに迫るための
授業展開の工夫

- ◎教材分析に基づく発問構成
- ◎児童を惹きつける教材提示

★2多面的・多角的な考えを
交流する場の設定

- ◎思いや考えを伝え、深め、認め合う話し合い活動
- ◎自分の思いや考えを整理する書く活動

★3児童の意欲を
高める個人内評価

- ◎学習を振り返る児童による自己評価
- ◎一人一人の成長を認め、励ます道徳ノート活用

指導と評価の一体化

児童の視点に立ち、教材の特色を生かす教材分析

道徳科年間指導計画

道徳教育全体計画とその「別葉」

「まなこ」取組 (相手意識の育成・二小生活・学習規律スタンダードの実施)

思いやり大作戦 (自他の関わり・人間関係形成力の育成)